

中道「分割」か「分派」か

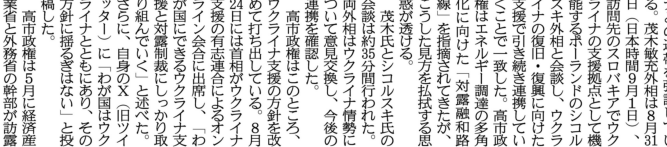
分党形式焦点…交付金からみ曲折も

執行部、青写真描けず

中道改革連合の分党が事実上決まったことを受け、分党の形式も焦点がなっている。党内の立憲民主系出身議員が「公明党出身議員は分裂後、衆院で議席を維持する方針を掲げている」と、田嶋陽子議員は「また、採用する形式によって交付金の扱いが異なるため、分党への意向は慎重に考えたい」と述べた。

（石橋 二 面にも主張）

中道改革連合の執行部は、分党の形式も焦点がなっている。党内の立憲民主系出身議員が「公明党出身議員は分裂後、衆院で議席を維持する方針を掲げている」と、田嶋陽子議員は「また、採用する形式によって交付金の扱いが異なるため、分党への意向は慎重に考えたい」と述べた。



高市政権 ウクライナと連帯強調

「対露融和路線」払拭狙いか



ウクライナ外相と高市早苗の握手

高市早苗首相が、ウクライナ外相と会談した。高市氏は「ウクライナは自由と民主主義の象徴であり、我々日本人はウクライナと連帯する」と強調した。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

高市早苗首相が、ウクライナ外相と会談した。高市氏は「ウクライナは自由と民主主義の象徴であり、我々日本人はウクライナと連帯する」と強調した。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

茂木氏、ポーランド外相と会談

茂木敏彦外相が、ポーランド外相と会談した。茂木氏は「ポーランドはEUの重要なメンバーであり、我々日本人はポーランドと連帯する」と強調した。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

日本5人の救援協力要請

高市早苗首相が、日本5人の救援協力要請を行った。高市氏は「日本は人道を重んじる国であり、被災者への救援は我々の責務である」と述べた。

政府、熊本地震で復興本部

政府は1日の閣議で熊本地震復興本部を設置した。高市早苗首相は「被災者への支援は我々の責務であり、復興本部を通じて被災者の生活を支える」と述べた。

政治部取材メモ

退職自衛官「支援庁」創設へ

防衛省は令和9年度予算の概算要求で、退職自衛官やその家族を支援する「退職自衛官支援庁」の創設に向けた関係経費を盛り込んだ。自衛官の処遇改善に取り組み、小泉進次郎防衛相の構想が実現する。米国の「退役軍人省」を参考にしている。国防省は自衛官の処遇改善に力を入れている。日本が「公作」を担っている。小泉は6月、防衛省内で開いた会合で「自衛官の処遇改善は我々の責務である」と述べた。

軍人への敬意「日米驚きの格差」

「我々の軍人、退役軍人を空は自衛隊、海は海上自衛隊、陸は陸上自衛隊と、我々日本人は軍人への敬意を込めて接している」と、高市早苗首相は述べた。高市氏は「日本は軍人への敬意を込めて接している」と述べた。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

石投げられる存在

文化の進歩に対する敬意は、日本にはない。高市早苗首相は述べた。高市氏は「日本には文化の進歩に対する敬意がない」と述べた。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

高市早苗首相の発言

高市早苗首相は、閣議後の記者会見で「日本は人道を重んじる国であり、被災者への救援は我々の責務である」と述べた。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

高市早苗首相の発言

高市早苗首相は、閣議後の記者会見で「日本は人道を重んじる国であり、被災者への救援は我々の責務である」と述べた。また、「対露融和路線」を払拭する意向を示唆した。

モロロジー・道徳教育財団

創立100周年記念事業

道経一体

経済・経営シンポジウム in 大阪

「三方よし」が現代に問われるもの

財団100周年を記念して、創立者・廣池千九郎が唱えた「道経一体（道徳経済一体）」「品性資本」「三方よし」を現代に問い直します。歴史を紡ぐ経営と、未来を拓く最先端の知性を交差させ、学びと実践、そして人と未来をつなぐシンポジウムを、大阪で開催いたします。

日時 2026年9月19日 13:20~16:40

会場 大阪市中央公会堂 1階大集会室

参加費 観覧会 10,000円 シンポジウムのみ 3,000円

お申し込みはこちら

お申し込み期限 2026年9月11日(金)

定員 500名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

プログラム

12:20 受付

13:20 開会

基調講演

人間バスター共生社会——未来の事業モデルと経済への新たな可能性

石黒 浩氏 大阪大学大学院基礎工学研究科教授(栄誉教授)、AVITA株式会社 代表取締役社長 CEO、慶応大学特別招聘教授

世界的なロボット研究の第一人者として、ジェノイド(自身の分身)をはじめとするアンドロイドなどを多数開発。2025年大阪・関西万博でシンポジウム「未来のロボット」の司会を務める。

三方よしアワード表彰式

「三方よし」経営を実践し、道徳と経済の両立、一体を目指す企業を選定し表彰します。

パネルディスカッション

山本 昌仁氏 たなやグループCEO、株式会社たなや 代表取締役社長

創業家11代目、和洋菜「たなや」「クラブハリエ」を率いる。平成6年全国菓子大博覧会で「名産品賞」を受賞。コロナ禍で仕入れ先保護を優先し、最長収益を達成。「現代の近江商人」と評される。

矢橋 英明氏 株式会社関西製作所 代表取締役社長

ニッチな産業機械メーカーとして社員第一主義を貫きながら、無借金経営による持続的な成長を実現。「アワードカンパニー大賞グループ」優秀経営者賞(最優秀経営者賞)などを受賞。

杉 慎一郎氏 株式会社ダイキョープラザ 代表取締役社長

「経営者が変われば、企業が変わる」という信念のもと、地域に根差したスーパーマーケット経営を推進。「お弁当お惣菜大賞」で14年連続受賞など、地域に愛される店づくりを実現。

コーディネーター 上野 信子氏 ジャー株式会社 執行役員

16:40 閉会

17:00~18:30 懇親会(同会場3階)

主催 モロロジー・道徳教育財団

共催 一般社団法人 日本道経会

協力 麗澤大学 Reitaku University

協力 大阪商工会議所

後援 産経新聞社